

令和4年度 高校生議会  
委員会記録

(令和4年12月27日開催)

知立市議会

## ●協 議 テ ー マ 付 託 一 覧 表

協 議 テ ー マ	付 託 委 員 会
L G B Tについて	L G B T検討委員会
選挙の投票率向上について	選挙検討委員会
税金（ふるさと納税など）について	税金検討委員会
知立駅周辺とその他の地域の開発について	知立市の開発検討委員会
外国人との共生について	多文化共生検討委員会

## LGBT検討委員会

12月27日（火）午後2時30分～ 第1委員会室

出席者 知立高校 ★高木 彩花、今泉 柚香

議 員 ◎杉浦 弘一、○兼子 義信、岩城 道雄、神谷文明

（★：発表者、◎：ファシリテーター、○：記録係）

### 【LGBT検討委員会の報告】

テーマ：LGBTについて

提言 「教育現場からLGBTへの理解を深める改革を！」

各委員の提案より

#### 1 学校教育での問題

まず、教材・カリキュラムの課題があります。例えば、保健体育の教科書でLGBTについて詳しく触れられません。また、教職員のLGBTに関する知識不足があり、生徒に正しい知識を伝えることを難しくしています。

そこで提案ですが、教職員のLGBTへの理解を深めるための研修やワークショップの実施し、学校全体で行うLGBT教育を推進していくことです。また、生徒のための相談窓口をつくり、相談室やスクールカウンセラーの充実を図っていくことも提案します。

#### 2 トイレの問題

LGBTのトイレ利用に対するアンケートでは、トランスジェンダーの65%が「困っている」「ストレスを感じる」と回答しています。問題点は、トイレに入るときの周囲の視線が気になったり、男女別のトイレしかなかったりすることがあげられます。

そこで、対策として男子用、女子用の他に、男女共用トイレの設置が考えられます。日本には、共用トイレ（オールジェンダートイレ）はあまりありませんが、その代わり多目的トイレが設置されているところがあります。

知立高校には多目的トイレが1か所しかないのです、不便です。

そこで提案ですが、知立市でも、多目的トイレの設置や、学校であれば職員トイレを活用できるようにしていくことを提案します。将来的には、だれでも使える個室のトイレを増やしていくことも大切だと考えます。

### 3 制服の問題

トランスジェンダーの人たちの中には、制服で悩んでいる人たちもいます。

そこで、制服を自由に選択できるようにしていくことを提案します。

セイラー服、学生服、ブレザー、ズボン、スカート、ネクタイ、リボンを自由に選べるようにしていったらどうでしょうか。

その他にも、制服そのものをなくしてはどうかとか、ジャージの使用なども、生徒会を中心に生徒で考えて学校に提案していくこともいいのではないのでしょうか、などの意見が出ました。

また、こうした制服の考えを中学校などにも広げていく中で、LGBTの理解を深めていくこともできるという意見もありました。

### 4 その他

話し合いの中では、LGBTが会社で抱える問題として、カミングアウトができないとか、評価の不利益や相談先がないなど、差別や偏見への対応が必要だという発表がありました。会社によっては先進的に取り組んでいるところもあるので、知立市でも呼びかけていくことが大事だと考えます。

また、パートナーシップ制度についても意見がありました。

メリットとして、病院での面会ができることや市営住宅への入居申請ができることなど。デメリットとして、相続権がないとか自治体にLGBTであることが公になるなどの問題点があります。愛知県でもパートナーシップ制度を導入している市町村が14あります。また、同性婚に賛成している人が6割を超えてきている現状を見ると、改めてLGBTや同性婚への関心を深めていくことが大切だと考えます

大人の人の方が頭が固いこともあり、子どものころにはなかったLGBTの問題を理解するのに時間がかかることもあります。私たち若い高校生の柔軟な考え方が出発点となって、LGBTへの理解が深まっていくことと思います。まずは、私たちの学校現場からLGBTへの理解が始まり、その波が知立市へ、そして社会へ大きく広がっていくことを望みます。

以上、LGBT検討委員会の報告とさせていただきます。

## 選挙検討委員会

12月27日（火）午後2時30分～ 議員控室

出席者：知立東高校 谷本 琳音、森口 純名

知立高校 ★杉浦 愛菜、小田 春嬉

議員 川嶋 太一郎、中島 孝之、○石川 智子、

◎永田 起也

（★：発表者、◎：ファシリテーター、○：記録係）

### 【選挙検討委員会の報告】

テーマ：選挙の投票率向上について

選挙検討委員会の報告をさせていただきます。

私たちの委員会は、高校生委員4名、議員4名の計8名で、若者の投票率向上について政策提言をまとめました。

まず、若者が選挙に行かない理由については、「政策がわからない。政治を身近に感じられず、投票しても何も変わらない。1票を投票しても反映されないと感じる。投票場所が遠い。自分の意見がまとまっていない。18歳になって急に投票するというのはためらいがある。」などの意見がありました。

解決策などの意見交換については、「課題はあるが、インターネット投票をすると投票率が上がると思う。選挙を身近に感じるにはSNSを活用すると分かりやすい。選挙を身近に感じるようなポスターの掲示。スウェーデンのような幼い頃からの主権者教育が必要。」などの意見がありました。

以上の意見交換を経て、政策提言として、

『有権者になる前から選挙を身近に感じるために、有権者になる前の中学2年から高校2年を対象にした、「知立市主催の模擬選挙の実施」』を提言します。

以上、選挙検討委員会の委員、全員賛成の下、決定させて頂いたことも含め、選挙検討委員会の報告とさせていただきます。

## 税金検討委員会

12月27日（火）午後2時30分～ 図書・資料室

出席者：知立東高校 高部 諒、★土井 佑香

知立高校 川井田 茉紘

議 員 柴田 勝、○神谷 定雄、◎田中 健

（★：発表者、◎：ファシリテーター、○：記録係）

### 【税金検討委員会の報告】

テーマ：税金（ふるさと納税など）について

税金検討委員会の報告をさせていただきます。

本委員会は、令和4年12月27日火曜日、午後2時30分から、委員全員出席のもと開催されました。

主な審査内容を報告します。

まず、収入を増やすことがなぜ必要かということでは、その方法の1つとして、ふるさと納税がある。ふるさと納税とは、「ふるさと納税」には「納税」という言葉がついていますが、実際には都道府県や市区町村へ「寄付」をする制度。ふるさと納税で自治体に寄付をすると、寄付をした金額のうち自己負担額2,000円を除いた金額が税金の控除の対象となる。つまり、ふるさと納税を通して「寄付」を行うことで、実質的にその自治体に「納税」していることになる。との意見。

### ※資金集め・知立市の税収・税について

税について、税収を増やす方法としては、

- 1 ふるさと納税に似たシステム
- 2 マッチングギフト
- 3 オリジナル記念日
- 4 路線名のネーミングライツ

がある。

2のマッチングギフトについては、寄付をもらって広報で返す方法。効果としては、アメリカで実験し実績がある。

その他、埼玉県東松山市の例も参考に税収を増やす。

外部からの収入を増やすためには、知立市の知名度を上げる必要がある。知名度の

上げ方としては、公式SNSの活性化、知立市各所の観光地化がある。知立市としては、公式LINEアカウント登録者数を増やすことに力を入れている。例として、マップクーポン事業について、500万円の予算から7000万円に拡大した実績がある。との意見。

知立市の税収については、

- 1 知立市を有名にし、寄付金をあつめる。
- 2 ふるさと納税を充実させる。
- 3 企業を誘致する。

という意見。

資金集めについては、クラウドファンディングで資金を集める。知立市でも実施したがなかなかうまくいっていない。例として、地域猫について実施したことがある。そのほか、企業を誘致する。知立市の良さをアピールする。大企業を増やし法人市民税を集める。との意見。

ふるさと納税の税収で、1番は北海道の紋別市。知立市の返礼品も魅力あるものにしなくてはいけない。

資金を集めるにあたって、どうして資金を集めるのか。ふるさと納税との違いについて、税金控除の有無やプロジェクトの規模の大小などに関しては異なる。クラウドファンディングのメリット・デメリットを活かしながら成功率を上げる。

『今入ってくるお金について、最少の経費で最大の効果を上げる。』

最後に、連続立体交差事業については、膨大な資金がいる。住みやすい街にするために、国のルールに沿って事業している。との意見がありました。

以上、税金検討委員会の報告とさせていただきます。

## 知立市の開発検討委員会

12月27日（火）午後2時30分～ 篤心会会派室

出席者：知立高校 奥田 日香、★富田 和湖、星野 釉那、加藤 那於  
議 員 嶋田 義雄、○中島 清志、小林 昭弐、  
◎川合 正彦

（★：発表者、◎：ファシリテーター、○：記録係）

### 【知立市の開発検討委員会の報告】

テーマ：知立駅付近とその他の地域の開発について

知立市の開発検討委員会の報告をします。

本委員会は、令和4年12月27日火曜日、午後2時30分から、高校生4名、市議会議員4名、合計8名全員出席のもと開催されました。

はじめに、高校生委員の提言案を報告します。

- ①知立市全体の開発へ
  - ②知立駅で季節を感じるために出来ることとは
  - ③知立市を若者の街に
  - ④知立駅周辺を活性化！大型ショッピングセンターを誘致
- 以上、4つです。

次に、主おもな意見交換の内容を報告します。

①については、知立市の南部では交通渋滞が激しくいつも渋滞している、市外の人  
は知立駅周辺にしか興味が沸いていないことから、楽しく動ける街にしたいという意  
見、スポーツ施設やポーリング場の娯楽施設があればうれしいのではという意見があ  
りました。また、これらの意見を考慮すると知立市全体でバランスよい開発が必要で  
はないかという意見もありました。

②については、知立駅前に四季折々の飾りつけをし、季節を感じる街にしたい。  
例えば、

（春）桜を植える。→今から桜は大変なので、芝桜を植える。

（夏）提灯をつるす。

（秋）木の実などを使ってリースをつくり駅に飾る。



(冬) イルミネーション、クリスマスツリーを設置する。

→ただし、節電にもつながる工夫が必要。

という意見がありました。また、製作から飾りつけまで知立市内の学校に依頼するという提案もありました。

③については、かきつばたの絵馬など観光資源を活用してインスタ映えスポットをつくり、SNSを有効活用し、もっと若者を知立市に呼び込んで欲しいとの意見、子育て家庭の母親が孤立してしまうのを防ぐために悩みを話せる居場所をつくり、子育てに優しいまちにするという意見がありました。

④については、大型ショッピングセンターの誘致には、用地確保、地域住民の理解、交通渋滞といったデメリットはあるが、雇用の拡大、地域住民の利便性向上、施設周辺の活性化などメリットも多いとの意見がありました。また、若者受けする店舗や飲食店の誘致が必要との意見がありました。

これらの意見をまとめ、本委員会としては、

『知立駅前に若者が活用するようなテナントや飲食店の誘致とかきつばたなどの観光資源を活用したインスタ映えするスポットを設置して、訪れたい街にしてほしい。』

ということを提言します。

以上、知立市の開発検討委員会の報告とさせていただきます。

## 多文化共生検討委員会

12月27日（火）午後2時30分～ 議長応接室

出席者：知立高校 村松 未彩、森山 美咲、金沢 匠、★森 星姫  
議 員 久世 泰男、○那須 幸子、◎中野 智基、佐藤 修  
（★：発表者、◎：ファシリテーター、○：記録係）

### 【多文化共生検討委員会の報告】

テーマ：外国人との共生について

多文化共生検討委員会の報告をさせていただきます。

私たちの委員会は、高校生議員4名、市議会議員4名の合計8名で、外国人との共生について協議いたしました。4人の高校生議員が調査を行い、調査内容の報告と問題解決の提案を行いました。

それぞれの問題提起や、発言された意見は、

- ・外国と日本のマナー相互理解に関する問題
- ・外国人の労働環境問題については、身近な環境に相談窓口を設置すること。
- ・日本語を必要とする外国人、児童生徒の問題については、碧南市のいっぽ教室を具体例とした巡回日本語教室の設置。
- ・外国人集住率1位を活かしたイベント開催

などが提案されました。

それぞれの高校生委員が育った環境の中での提案内容でありましたが、外国人との共生の入り口は、なんといってもコミュニケーションです。お互いがわからない、理解できないから不安が増長されているのが現状です。

相手に伝わっていないことが多いことから、この地域において、多くの問題が解決できていない状況となっています。外国人だけでなく、日本人にも伝わっていないという状況も見受けられます。

特に、私たち高校生は、行政とのつながりがうすく、情報が正しく伝わっていないというのが現状です。

そこで私たちの委員会が提案させていただきます。

その提案内容は、

『もっとSNSを活用した多文化共生に関する情報のPRを行うこと』です。

以上、多文化共生検討委員会の報告とさせていただきます。